

演習 1 2 監査計画の策定

S サービス株式会社の内部監査中期計画及び年度計画は以下のようになっています。

■中期計画

今年度は「ISMS の運用の確認を行う」となっている。

■年度計画

- ・開発部及び総務部の内部監査は5月に実施
- ・営業部の内部監査は7月に実施

今回、営業部において ISMS を導入する目的（テストケース参照）の③のうち、運用が適切に行われているかどうかを、内部監査で確認しようとしています。判断は、ISMS の運用が JIS Q 27001:2006 の附属書 A に適合しているかどうかで行うことにしました。

演習 1 2 - 1. 内部監査計画書（営業部の内部監査の個別計画）を作成します。内部監査計画書の空欄を埋めてみてください。

監査計画書

(1) 目的

演習 12-1-1. 内部監査の目的をどうするか、書いてください。

受託内容および受託データ、契約上の要求事項および個人情報保護を含む法規制上の要求事項を守るため、営業部において ISMS を導入する目的である仕組みの構築、運用、見直し、改善のうち、運用が適切に行われているかどうかを確認する。

(2) 基準

演習 12-1-2. 内部監査の基準をどうするか、書いてください。

- ・情報セキュリティ基本方針及び社内ルール
- ・JIS Q 27001:2006 附属書 A

(3) 対象部署

演習 12-1-3. 内部監査の対象となる部署をどこにするか、課のレベルで書いてください。

営業部 宣伝課

営業部 IT 構築サポート課

(4) 監査項目

演習 12-1-4.

“（１）目的”、“（３）対象部署”を考慮した上で、“（２）基準”で決定した基準から、どの項目を内部監査でチェックすればよいか、書いてください。

その際、教材の「個別計画の例(1/2)」の「監査範囲」の記述例を参考にして書いてください。

基準項目	対象となる部署	
ISMS 文書管理手順書に従った文書の適切な管理 情報セキュリティ基本方針及び社内ルール	営業部	宣伝課 IT 構築サポート課
情報システムのマニュアルなどの文書は誰でも利用できるように、情報システムのそばに設置されている。 JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 10. 1. 1 操作手順書	営業部	宣伝課 IT 構築サポート課
持ち出し可能な記憶媒体の持ち出しルール JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 9. 2. 7 資産の移動	営業部	宣伝課 IT 構築サポート課
社内で「極秘」「秘密」社外と「公開」以外に担当する情報やソフトウェアの授受を行う場合には所定の管理シートに記録、管理する。 JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 9. 2. 7 資産の移動	営業部	宣伝課 IT 構築サポート課
不要となった PC や記録媒体の廃棄ルール JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 10. 7. 2 媒体の処分	営業部	宣 伝 課 IT 構築サポート課
リモートアクセス及びテレワーキング JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 11. 7. 1 モバイルコンピューティング及び通信 A. 11. 7. 2 テレワーキング	営業部	宣 伝 課 IT 構築サポート課
ノート PC を社外に持ち出す際の運用 JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 11. 7. 1 モバイルコンピューティング及び通信	営業部	宣 伝 課 IT 構築サポート課
情報システムを利用できる時間は午前 6 時から午後 11 時までに限定 JIS Q 27001:2006 附属書 A A11. 5. 6 接続時間の制限	営業部	宣 伝 課 IT 構築サポート課
アカウントの定期的な見直しに関する運用 JIS Q 27001:2006 附属書 A A. 8. 3. 3 アクセス権の削除	営業部	宣 伝 課 IT 構築サポート課

